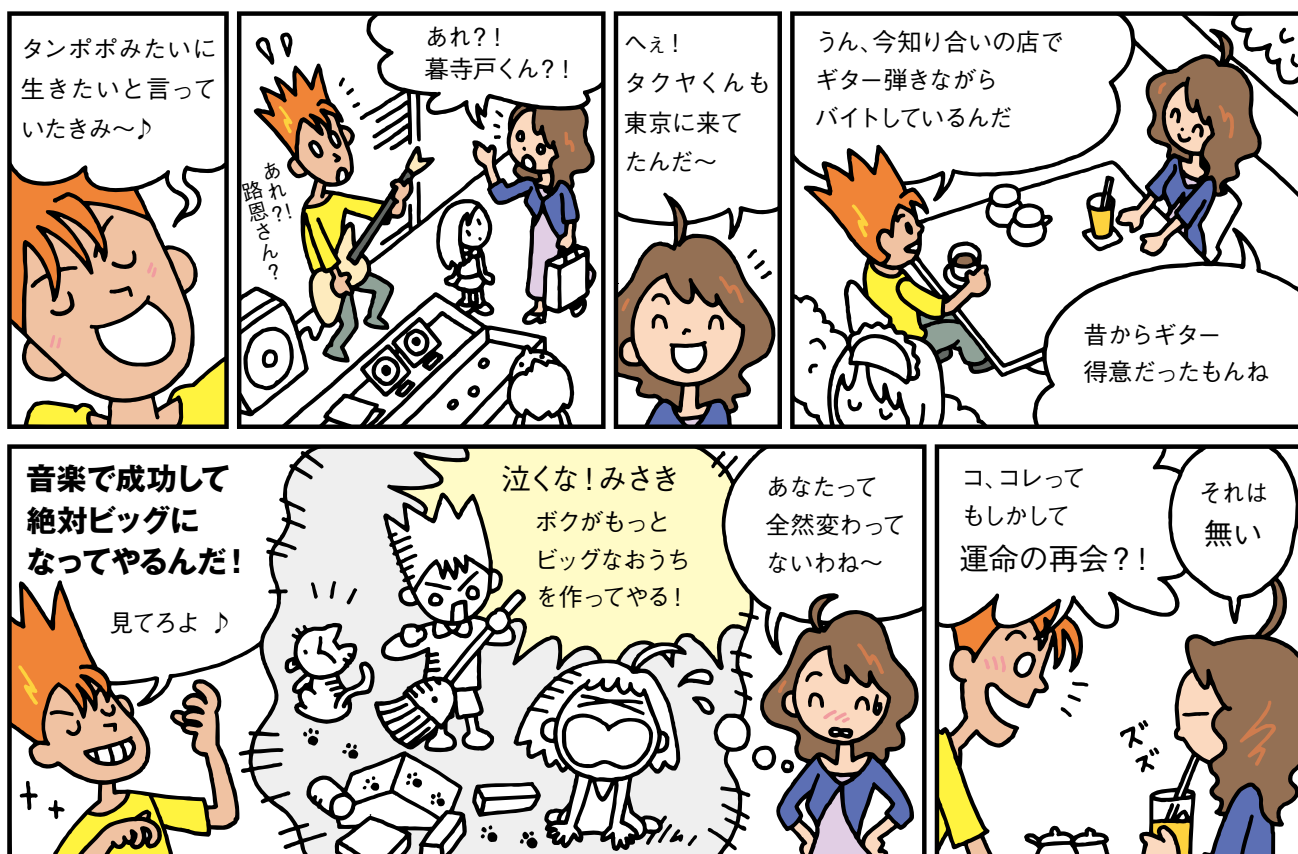


— どのように生きて行くかを考えよう —



A 1 ライフプランの意義 人生の設計図を描こう!

自分の将来について考えたことがありますか? 仕事や結婚、家庭、趣味、老後など、どのような人生を送りたいか具体的に考えてみてください。

将来のイメージを具体化して、それに必要な資金計画を立てることを「ライフプラン」を立てるといいます。

日ごろから、職業と収入の関係や、家計や**ライフイベント**にかかる費用について興味をもって生活すると、資金計画を立てるのに役立ちます。

人生で起こるさまざまなできごとやそれにかかるお金について考えながら、自分らしいライフプランを立ててみてください。

ライフイベント

人生の途中で訪れるさまざまなできごとのことを「ライフイベント」という。

例えば、「就職」「起業」「結婚」「子ども（誕生や進学など）」「住宅購入」「退職」「老後の生活」などで、それにかかる資金計画を立てることが必要。

「車の購入」など、高額なものを購入するときにも資金計画が必要になる。

●ライフプラン作りのポイント

1. なりたい職業と収入
2. 家族構成（結婚、子ども）
3. ライフイベント（時期、費用）
4. 生活費
5. 貯蓄額

Q1 自分自身の将来について、具体的に書き出してみましょう。



A 2 ライフプランの考え方 資金計画を立てよう!

ライフプランは一人一人異なるものですが、多くの人に共通するといわれるのが「人生の三大資金(住宅資金・教育資金・老後資金)」です。

三大資金を組み入れて大まかなライフプランを立てたら、それを実行するための「収入」と「支出」について考えてみます。

将来の収入について具体的に計画するのは難しいものですが、1ヵ月単位や1年単位で収入と支出を計算して積み上げていくと、長期間の収支のめどが立ちます。統計データなどから平均的なものを引用してもよいでしょう。

いずれにしても収入よりも支出が多い家計は成り立ちません。ライフプランには長期的な計画と短期的な家計の管理、そして状況に応じて見直しを行うことが必要です。

また、資金計画では、必要な資金をどのように調達するかが重要になるので、計画的な貯蓄や資金の借入れなどの検討が必要です。

住宅資金

家を借りる、買う、親の家に同居するなどの選択肢がある。家を買う場合には、お金を貯めてから買う、お金を借りて買ってから返済するという方法がある。貯蓄も返済もきちんと計画的に行う必要がある。

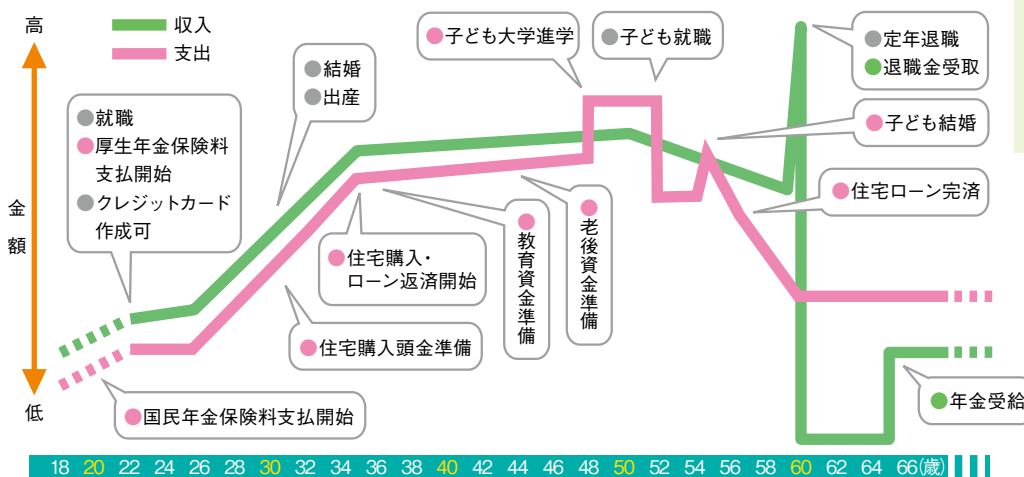
教育資金

子どもの成長に伴って、学校などの教育費が必要になる。進学先が公立か私立かなどによって必要な金額は異なる。奨学金や教育ローンを利用することも考えられる。

老後資金

一般的に退職後は年金などが収入の中心となるが、年金だけでは不足する場合に備え、事前の準備が大切。老後の資金は、どのように暮らすかによって必要な金額が異なってくる。貯蓄のほかは個人年金保険の利用も考えられる。

図 A-1 ライフイベントと収支のイメージ



A 3 リスクへの対応 アクシデントに備える!

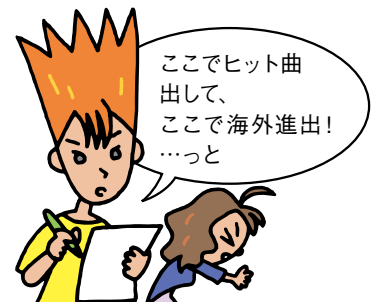
ライフプランには計画的な家計管理が大切なのはもちろんのこと、さまざまな起こりうるアクシデントに対する備えも必要です。

自分や家族のケガ・病気などのアクシデントに対する急な出費は、貯蓄で補うほか、あらかじめ保険などを利用して対策を立てておくことが考えられます。

また、時には状況に応じてライフプランを見直すことも必要です。

図 A-2 保険による備えの例

子どもの成長に備える	子ども保険・学資保険
病気やケガに備える	生命保険・医療保険・介護保険
火災・自動車事故に備える	損害保険
老後に備える	個人年金保険・介護保険
死亡に備える	生命保険



※1年ごとの収支を計算してライフプラン作りができるライフプランシートは、全国銀行協会のホームページからダウンロードできます
http://www.zenginkyo.or.jp/education/material/bank_highschool/index.html